

商工労働観光エネルギー委員会で質問

11月21日

青森県での地熱発電の可能性は
エネルギー開発振興課長
「全国では36カ所地熱発電がおこなわれており、県内では岩木山嶽地域、八甲田北西地域、八甲田城ヶ倉地域、むつ市志内岳地域、下風呂地域の5地域で、独立行政法人石油天然ガス・金属資源機構JOGMECの支援を受けて実施可能調査が進められている。」



「覚書」使用済み燃料施設外搬出とはどこをさすのか
原子力立地対策課長
「平成10年に青森県、六ヶ所村、日本原燃との間で締結した再処理事業の確実な実施が困難になった場合の措置に関する覚書について、再処理等の実施主体となった使用済み燃料再処理機構にも引き継いでいただく必要があると考え、新たに覚書を締結した。施設外について具体的な搬出先を特定しているものではない。」

「覚書はあくまで六ヶ所の再処理工場における再処理事業の確実な実施という前提が崩れた場合のための覚書であり、そうなった場合は関係者で協議の上適切に対処していくという覚書だ。」

県内中小企業の倒産状況は
商工政策課長
「平成27年1月から12月までの負債総額1000万円以上の企業倒産は52件で負債総額は約119億円。28年1月から10月までは45件約92億円となっている。内訳は卸小売業20件、サービス業9件、建設業7件で、倒産原因は販売不振が32件で全体の7割を占めている」

「時間外労働は平成26年が最新の数字で年間平均112.8時間。全国より19.2時間短い。過労死は厚労省の資料によると2名のうち1人は精神障害を原因とする自殺となっている。」

県内企業の時間外労働及び過労死の実態示せ
労政能力開発課長
「労働実態をしっかりと調査し、労働者が安心して働ける環境を確保できるように電通の事例を示しながら最善を尽くす様求めました。」

日本共産党青森県議会議員 安藤はるみの 新・アジサイだより



くる年も

みんなの夢のせ

世直しだ

(はるみのワクワク川柳)

★安藤はるみの活動日誌★



- 11月22日 議会運営委員会
- 11月23日 シンポジウム「学校の多忙・子どもの部活動」を考える (写真上)
- 11月24日~12月9日 定例議会
- 11月29日 核燃市民講座「どうなる？高速増殖炉もんじゅ廃炉後の青森県」(写真左)
- 12月3日 無煙のまちづくりシンポジウム

ほっとタイム



ドクダミ

ドクダミの花盛りの頃、党員の皆さんと地域訪問をしていた時のこと。顔見知りの奥さんがちよと庭でドクダミを刈っていたところでした。「これどうするんですか」と聞くと、「毎年花と葉を刈って束にして干しておくの」とのことでした。そして、それが乾燥したら煎じて飲むのだそうです。我が家にも、20数年前に友達の庭に育っていた一株をいただいて植えたドクダミが元気に繁殖して、毎年可憐な花を咲かせていました。鼻の病気に効くとは聞いていたものの、植えばなしで雑草取りをするときに一緒に大分抜いていました。私は、乾燥して煎じているという奥さんの話を聞いて、どうせ抜くのであれば干してみようと、今年は大きな束4つくらいにして小屋に入れておきました。

冬支度が始まる頃小屋の乾燥したそのドクダミを見て、忙しさにかまけて煎じてみようという気にはならず、もう処分しようかと思いついていた頃大きな転機が訪れました。

いつもお世話になっている美容院で鏡に映る自分の顔のシミの話になりました。すると、たっさんのお客さんを見ている美容師さんが、「年齢をとつてもシミひとつないきれいな肌のお客さんが、ドクダミを煎じた汁を顔に塗っているという話を聞いて、自分も真似してみたい。なんか効いてきたみたい」という話を聞いたのです。

早速私も家の乾燥ドクダミを煎じて飲んだり、肌につけたりしてみました。ついでに夫の腕にできた紫色の大きな斑点にも了解を得て塗ってみました。驚いたことに夫の腕の斑点が消えたのです。私の顔のシミは消えませんが薄くなったような気がします。すっかりドクダミ信者になってしまいました。

■皆さんの「ご意見」・「ご要望」をお寄せ下さい。■「生活相談」お気軽にご連絡下さい。11月の相談対応4件。

発行：安藤はるみ

事務所 弘前市宮川2丁目3-2 電話0172-35-7021 10:00~15:00(土・日・祝日休み 留守電対応)

自宅0172-35-2270

Eメール ando.harumi@theia.ocn.ne.jp ホームページアドレス http://ando-harumi.com/

11月のホームページアクセス数 27,449件